

生 町内3中学校で体育祭 生徒の全力の演技が広げた感動

町内3中学校の体育祭が5月26日に行われ、生徒たちは暑さをものともせず、各競技で練習の成果を発揮しました。金田中では女子生徒全員で創作ダンスと打楽器「鳴子」を使った踊りの2曲を披露。リズムに合わせて楽器を打ち鳴らし、一糸乱れない隊形で演技を終えると、会場から惜しめない拍手が送られていました。



↑「鳴子」は3年生が1年生に教え継ぐことが、10年以上続く金田中の伝統。

↓約1週間の寿命しかない蛍のはかなくも美しい生命の輝きが観賞者を魅了。



福 上野地区の清流でゲンジボタルが乱舞 福智山麓で幻想的な蛍の世界と遭遇

梅雨入り前の風物詩であるゲンジボタルの乱舞が、6月上旬に見頃を迎えました。福智山の山並みを背に、たくさんの蛍を観賞できるスポットとしてひそかに知名度を上げている上野地区。地元や遠方からも大勢の観賞者が来訪し、夜のとばりに浮くゲンジボタルのきらめきを時間がたつのも忘れて眺めていました。

↓現部員総数は24人。市場小学校の児童を対象に新規部員を募集しています。



好 少年野球チーム「赤池ジュニアベアーズ」 調を保ち2大会で福岡県ベスト32強

赤池ジュニアベアーズが「第39回全日本学童軟式野球大会」と「福岡県学童軟式野球2019」の2大会で田川・筑豊予選を勝ち抜き、福岡県ベスト32に輝きました。黒土監督は「9月から町内で開催されるうぐいす杯でも好調を保ち、優勝を目指したい」と力を込めました。 **部員募集中!** ☎ 080-6456-5915 (黒土)

稲 弁城小と朝鮮初級学校の児童が田植えを体験 稲作から学ぶ「収穫と平和」2つの願い

朝鮮初級学校の児童と一緒に田植えを行うことで「収穫のありがたみと平和の大切さ」を学ぶことを目的とした田植えの授業が、5月10日に弁城小学校裏の田んぼで行われました。稲作熟練者の地域住民も全面協力した約10年間続くこの授業。子どもたちは2つの願いを込めて、1本ずつ丁寧に苗を植えていました。



↑子どもたちは顔や服を泥だらけにしながら、田んぼ一面に苗を植えました。

↓沖縄県中城村長の浜田京介氏。上野焼やふくち☆リッチジェラートなど福智町の魅力を多数紹介。



沖 20年以上の深い絆をもつ兄弟都市 沖縄県中城村で福智町を紹介

福智町の兄弟都市である沖縄県中城村の「広報なかぐすく6月号」で、福智町の概要や観光・特産品などが表紙から5ページにわたり特集されました。相互の認知度を高めようと両町村の広報紙でお互いの街を紹介するこの企画では、今年の広報ふくち2月号で中城村を紹介。今後もスポーツ交流や役場職員の派遣などを通して、さらに交流の輪を広げていく予定です。

絵 全国訪問おはなし隊がふくちのちに来訪 絵本の世界にいざなうキャラバンカー

子どもたちの読書活動を推進するため、550冊以上の絵本を載せて全国をまわる「全国訪問おはなし隊」のキャラバンカーがふくちのちを訪問しました。小学校低学年の児童など約60人が参加。子どもたちは、キャラバンカーから選んだ絵本の世界に引き込まれたかのように、目を輝かせながら物語を読んでいた。



↑約2年に1度しか訪問しないキャラバンカー。ふくちのち訪問は今回で2回目。

↓全校を代表し伊方小で贈呈式を実施。西銀オリジナルグッズも初めて贈呈。



読 西日本シティ銀行提携読書通帳贈呈式 読書歴を通帳に残して財産に

西日本シティ銀行とふくちのちが一昨年に共同作成した読書通帳が5月23日に新入学児童174人に贈られました。通帳には題名や貸出日、ページ数を印字でき、導入2年で1万回以上の利用を記録。井上館長は「お金をためるように、読書数と知識を積み重ねてほしい」と語りかけ、児童は満面の笑みで応えていました。